



© Shigeto Imura

声楽 (ソプラノ)

大森 智子

おおもり ともこ

東京都出身 神奈川県在住

【所属マネジメント】

公益財団法人日本オペラ振興会

住所：〒215-0035 神奈川県川崎市麻生区黒川76-1

TEL：044-819-5505 FAX：044-819-5205

担当：菅 若菜

E-mail：suga@jof.or.jp

やってみたいアクティビティとコンサート

【世界でいちばん小さい楽器】

喉の中にある声帯が震えて、その振動が身体中に伝わると「声」という楽器が完成します。

誰もが、この“世界でいちばん小さい楽器”を持っているのだということ、老若男女問わずお伝えしたく、20年以上活動を続けてきました。だって、みんな、頼まれてもないのに、その楽器を身体いっぱい響かせて生まれてきたんですもの！その素晴らしさを知ってもらいたいです！

小学校アウトリーチでよく演奏する「かんじのテスト」という曲、小学生の男の子が苦手なテストのことを書いた詩に作曲されているので、クラスの子のランドセルをお借りし背負いながら歌うのですが、ある日、ワンピースを着て歌っていたのに、後日送られてきた感想文に描かれていた絵、わたしはズボンを履いていました！

計り知れない子どもたちの想像力を、歌で、音楽でもっともっとふくらませたい！！

どんなアクティビティでも、コンサートでも、その会場にいる全員がしあわせになれる、歌を、音楽を共有できる、笑顔あふれる時間をお届けすることをいつも目指しています。

自己PR

【やっぱり「おむすび」になりたい！】

たとえば小学校の廊下でわたしより高い声で子どもたちが朗々と歌っていたり、特別支援学校では、ずっと言葉を発してこなかった子が一緒に歌い出したり、お年寄りの方々がゲラゲラ笑ったかと思えば涙を流してくださったり、

おんかつはわたしの大事なライフワーク。長く続けてきていますが、常に「一期一会」を大切に、いま目の前にいる聴き手にお伝えすること、その音楽が最良であるようにということ、歌いに行く直前に心に誓っています。

そして、歌で、人と人とを結ぶ「おむすび」に、やっぱりわたしはなりたいです！！

PROFILE

みずみずしい感性に透明感と温もりを併せ持つ歌声で常に聴衆に喜びを与えているソプラノ。

昭和音楽大学卒業、特別賞受賞。パリ・エコール・ノルマル音楽院を審査員全員一致の首席で卒業、審査員特別賞受賞。パリ国立高等音楽院にてさらに研鑽を積む。帰国後はオペラや第九ソロ、宗教曲、全国各地でのコンサートで活躍。また、自身が長年取り組んでいるアウトリーチ活動では、近年アウトリーチアーティスト養成事業の講師としても各地で招かれ成果を残している。

自身の歌声のように、人の心にすっと入り自然に巻き込むワークショップにも定評あり「第九ワークショップ」「歌う喜び満喫講座」「カンツォーネワークショップ」などがある。CDは「モンテヴェルディ集～祈りの歌～」「やわらかな歌」「やすらぎのアヴェ・マリア～音楽療法ベスト～」「デュオ・ナチュレル」など。NHK-

FMでも紹介されている。楽譜の監修も多く務め、「ピアノと歌う愛の歌」「ピアノと歌う世界の歌」など（ヤマハ・エンタテインメント・ホールディングス）。

声楽を細川久美子、南條敏章、エディット・セリグ、ペーテル・ゴットリーブ、牧野正人の各氏に師事。

2000年文化庁芸術インターンシップ研修員。第16回国際古楽コンクール《山梨》第2位（声楽で最高位）。(一財)地域創造・公共ホール音楽活性化事業登録アーティスト。ソニー音楽財団「こどものためのクラシック」登録アーティスト。昭和音楽大学・大学院講師。藤原歌劇団団員。

公式ブログ「ソプラノ大森智子 シン・ともこもなこ！」 <https://ameblo.jp/makipunpun/>